

第 58 回 海岸工学講演会で当センターのメンバーが研究発表を行いました (2011/11/9-12)

11月9日(水)~12日(土)の4日間、岩手県民情報交流センター・アイーナ岩手(岩手県盛岡市)で土木学会海岸工学委員会が主催する「第58回海岸工学講演会」が開催されました。同委員会は、土木工学の分野に関係ある海岸工学の問題の研究、調査、その成果の普及を推進することを目的としています。海岸工学講演会は年に1回行われるもので、毎年発行される「海岸工学論文集」に掲載された査読論文について発表が認められています。当センターからは、5件の査読論文発表についての発表を行いました。今年度は、発表者の他に聴講者も数多く参加し、海岸工学への関心が高まる中、活発な議論が交わされました。講演会の前日には、野田村・普代村・田老町・宮古市の被災地調査があったほか、最終日にはシンポジウムが開催され、津波特定委員会の各WGからの報告や地震・津波複合災害の推定手法および対策研究小委員会からの報告、パネルディスカッションも開催されました。各発表者の講演題目等は次の通りです：

題目

郷右近英臣, 越村俊一, 松岡 昌志, 行谷佑一：2009年米領サモア地震津波における津波被害関数の構築

郷右近英臣, ○越村俊一, 今井健太郎：2009年米領サモア地震・津波の発生メカニズムの検討

林豊, 越村俊一, 今村文彦：遠地地震津波の減衰予測のためのMRMS振幅の時間減衰モデル
原田賢治, 今井健太郎, Tran The Anh, ○藤木悦史：津波斜面遡上による陸域での堆積砂形成に関する水理実験

Anawat Suppasri, Shunichi Koshimura and Fumihiko Imamura: Tsunami risk assessment for building using numerical model and fragility curves

○印は登壇者、下線はセンター構成員